

## イーベイ・ジャパン、2022年第4四半期および年間の越境ECトレンドを公開

### 2022年第4四半期（10-12月）越境ECトレンド

- 売れ筋・注目商品はポケモンカード（トレカ）、ニンテンドー3DS（ゲーム）、ドラゴンボール（アニメグッズ）、HONDA（自動車パーツ）など日本を代表するブランド、コンテンツが各カテゴリー上位に

### 2022年年間越境ECトレンド

- ブランドバッグ、時計が昨年に引き続き1-2位に。安定した人気に加え円安の影響を受けた海外の高額品需要が後押しし成長率TOP2も時計、ブランドバッグに
- 「ドラゴンボール」「ONE PIECE」「チェンソーマン」「僕のヒーローアカデミア」などジャパンアニメの人気が関連グッズ売上にも好影響



世界最大規模のオンライン・マーケットプレイス「eBay（イーベイ）」への出店を通じ、日本セラーの越境EC（海外販売）を支援するイーベイ・ジャパン株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：岡田 雅之、以下イーベイ・ジャパン）は、2022年度第4四半期（10-12月）の期間、および2022年の一年間に日本セラーから出品されたアイテムの販売動向を発表しました。

第4四半期のカテゴリー別売れ筋・注目商品ランキングでは、トレーディングカードカテゴリーにおいて12月に発売された「ポケモンカードゲーム ソード&シールド ハイクラスパック VSTAR ユニバース」が1位を獲得。ビデオゲーム（本体）ではニンテンドー3DSシリーズ、アニメグッズでは2022年に全世界で映画がヒットした「ドラゴンボール」シリーズの商品が売れ筋となり、各カテゴリーで日本が世界に誇るメーカーとコンテンツが並びました。自動車パーツでは国産スポーツカー人気の影響を受け「Honda インテグラ TYPE R DC5 後期型テールランプ」が売れ筋となっており、カメラカテゴリーでは海外の熱狂的なファンから支持されるライカの数量限定商品などが注目されました。またファッショングッズでは高額商品が引き続き人気で、時計やジュエリーを含めた全般において「ロレックス デイトジャスト」が、ハンドバッグでは「ルイ・ヴィトン キーポル・バンドリエール 50 ブリズム ボストンバッグ」が注目されました。

2022年年間では、取引額ランキングにおいて昨年に引きレディースアパレル＆バッグ・ブランド小物が1位、時計・パート＆アクセサリーが2位となりました。どちらも安定した人気のカテゴリーであることに加え、円安の影響で海外で高額品の購入欲が高まったことで成長率でもこの2カテゴリーが上位2位を占めました。取引額3位のアニメアート＆キャラクターグッズは、「ドラゴンボール」「ONE PIECE」など日本を代表するアニメの映画が成功したことも影響しフィギュアや関連グッズの売上が全体的に伸びました。成長率3位の自動車パーツは国産スポーツカーの海外人気の高まりを受け、昨年右肩上がりで市場が拡大しました。

## ■2022年第4四半期（10-12月）日本からの「越境EC」取引に関するデータ

### 【カテゴリー別売れ筋・注目商品ランキング】

※カテゴリーによっては、単価や販売個数とは関係なく注目度が高かった商品やユニークな限定商品をピックアップしています

2022年第4四半期に日本から売れ筋となった、または注目された商品をイーベイ・ジャパンの各カテゴリー担当者がピックアップしランキング化しました。

### ＜コレクティブルズカテゴリー＞

#### 2022年第4四半期「コレクティブルズカテゴリー」注目商品TOP3

##### トレーディングカード

##### ビデオゲーム（本体）

##### アニメグッズ (人気アニメシリーズ)



### ＜コレクティブルズカテゴリー 担当者コメント＞

2022年第4四半期の前半は世界的なインフレによる節約傾向もありやや鈍化傾向でしたが、11月後半から12月にかけて年末商戦に向けた出品点数強化やアニメグッズ・トレカ新商品発売の影響で全体的に大きく伸長しました。12月は特に日本を代表するアニメ商材が大きく盛り上がりを見せました。ホビー、トレカ、ゲームジャンルはeBayで展開した様々な施策・キャンペーンの影響により着実に伸び続け、12月には2022年で一番多いアクティブセラー数を記録。また、第4四半期中にはFIFAワールドカップが開催されたことで、日本からも海外で活躍する有名サッカー選手の希少性の高いトレカが盛り上がりを見せました。

#### 【トレーディングカード】

「ポケモンカード」が引き続き好調。「ONE PIECE」や「ヴァイスシュヴァルツ」も新発売ボックスだけでなく、数十万を超えるシングルカードも多く取引されました。

#### 【アニメ】

「ドラゴンボール」の映画放映、「チェンソーマン」の放映開始の影響もあり関連グッズが大きく盛り上りました。その他「鬼滅の刃」「僕のヒーローアカデミア」「呪術廻戦」など日本を代表するアニメのフィギュアや関連グッズが幅広く取引され売上が伸長しました。

#### 【ゲーム】

円安の影響による好調を維持し、今までの主流商材であったすでに廃盤となっている希少性の高いポータブルゲーム機だけではなく、最近のゲーム機や100万円を超えるゲーム機など幅広い商材が販売されました。

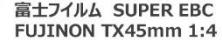
（カテゴリーマネージメント部 カテゴリーマネージャー 市田良介）

## ＜自動車パーツ・カメラカテゴリー＞

### 2022年第4四半期 「自動車パーツ・カメラカテゴリー」 注目商品TOP3

#### 自動車パーツ

#### カメラ

 Honda インテグラ TYPE R DC5 後期型テールランプ	 ライカ M10 モノクローム "Leitz Wetzlar"
 TOYO TIRES OPEN COUNTRY R/T	 土井工作所 日本映機 (日本スコープ) アナモルフィックレンズ 40mm
 NISSAN シルビア S15 スペックR 純正ステアリング	 富士フィルム SUPER EBC FUJINON TX45mm 1:4

## ＜自動車パーツ・カメラカテゴリー 担当者コメント＞

### 【自動車パーツ】

国産スポーツカーの純正部品の人気が引き続き衰えず、2022年第4四半期では前年同期比+37.7%で伸び率1位、2022年の年間売上総額の前年比は+22.8%と加速的な伸びを見せています。中でも新品・中古問わず需要が高いパーツはヘッドライト、フォグランプ、テールライト等の電装部品です。「Honda インテグラ タイプ R」シリーズのテールランプは、国内ECサイトの2~3倍の価格で取引がされている一例です。また、TOYO TIRESのオープンカントリーは大型SUV車両が抜きんでて普及している北米市場で絶大な人気を博しているタイヤで、今年40周年を迎える本シリーズは今後もグローバルでの人気を落とさず、eBay上も活発に取引が行われることが予想されます。

### 【カメラ】

年間を通して円安の影響と比較的参入障壁が低い商材ということもあり、2022年も高い取引高を維持していました。中でもデジタルカメラは第4四半期の前年同期比+48.6%、2022年の年間売上総額の前年比は+51.4%とかつてない程の大きな伸びを見せています。デジタルカメラのカテゴリーで目を引いた商品は、ライカの前身であるエルンスト・ライツ社の創業が150年を迎えたことを記念して発売された特別限定モデルの「ライカ M10 モノクローム Leitz Wetzlar」のボディです。2020年に世界650台限定で発売されたという希少性により、中古であっても高い販売価格を維持していました。

(カテゴリーマネジメント部 カテゴリーマネージャー 古谷まゆみ)

## <ファッションカテゴリー>

### 2022年第4四半期 「ファッションカテゴリー」 注目商品TOP3

#### ファッション全般

#### ハンドバッグ



## <ファッションカテゴリー 担当者コメント>

2022年第4四半期は10月頃の歴史的な円安が後押しし、ハンドバッグ、高級時計、高級ジュエリーなど高額商品が多いカテゴリーが大きく売上を伸ばしました。

### 【時計】

ロレックス、オメガ等の定番はもちろんのこと、ウブロ、パテック・フィリップ、オーデマ・ピゲ、バセロン・コンスタンチン、ブレゲなど雲上ブランドと呼ばれるハイエンド時計の売上が伸びました。

### 【ジュエリー】

ジュエリーは最近のファッションカテゴリーの中で最も伸び代が大きいカテゴリーとなっており、ブランドジュエリーだけではなく、ノーブランドの貴金属等の売上も好調に推移しています。

### 【メンズファッション】

メンズファッションカテゴリーもその規模を堅調に膨らませており、中でもスニーカーカテゴリーは2021年に比べ2022年は年間約40%の伸びを見せました。

(カテゴリーマネジメント部 部長 北村直樹)

■2022年間 日本からの「越境EC」取引に関するデータ（期間：2022年1-12月）  
【カテゴリーランキング】

<取引額TOP10>



※順位の下段は同データ前年同期にランクインしていた際の順位

年間の取引額は女性向けのブランド品が1位に、時計・パーツ&アクセサリーが2位となり、昨年と同じTOP2となりました。昨年の5位から3位に順位を上げたのはアニメアート&キャラクターグッズで、「ドラゴンボール」や「ONE PIECE」、「呪術廻戻」など日本を代表するアニメの映画作品が2022年は相次いで海外でも大ヒットしたこともありフィギュアや関連グッズの売上が全体的に伸びました。

<成長率TOP3>（昨年比）



取引額TOP10のうち、前年比で大きく成長したカテゴリーでは1位に時計・パーツ&アクセサリー（前年比+45%）、2位に女性向けのブランド品（同+24%）と取引額ランキングと同じTOPながら順位が入れ替わる結果となりました。2022年は円安の影響でハンドバッグや高級時計、ジュエリーなどが大きく売上を伸ばしました。これらのカテゴリーは高額品がeBayの真贋保証サービスの対象となっていることもあり安全に取引が出来ることも影響していると考えられます。また自動車パーツは国産スポーツカーの海外人気の高まりで純正部品の需要が加速しており、特に第4四半期は+38%と成長率1位を記録。年間でも+23%と大きく躍進しました。

## 【今後の予測】

2023年の年初は、一旦は円高が進みましたが、円安傾向はまだまだ続くと思われます。日本の商品の競争力は第1四半期中は高いままであることが予想されます。また今年はタックスリターンの影響が通常通り出てくると思われ、高価格帯の商品の売上拡大が見込まれます。

他にも2023年は近年成熟してきた嗜好の多様化により、各カテゴリーで、熱狂的ファン（enthusiast）向け商材に対する需要が、更に拡大していくでしょう。

（カテゴリーマネジメント部 部長 北村直樹）

## 【eBay Inc.およびイーベイ・ジャパンについて】



eBay Inc.（米国 NASDAQ 上場、ティッカーシンボル：EBAY）は、すべての人の生活を

豊かにするために、人と人とをつなぎコミュニティを創出する、世界有数の e コマース企業です。

当社が 190 以上の国と地域で運営するマーケットプレイス上でセラー（売り手）とバイヤー（買い手）をつなぎ、すべての人に成長と成功のチャンスを提供しています。1995 年に米国カリフォルニア州サンノゼで創業されて以来、eBay は価値ある商品やユニークな商品が見つかる世界最大級のマーケットプレイスとして、活発な取引の場を提供し続けています。2022 年は 739 億ドルを超える総取引額がありました。

会社情報の詳細と運営サイトの情報はこちらからご覧いただけます。

<https://www.ebayinc.com/>

## 【イーベイ・ジャパン株式会社】

本社所在地：東京都港区

事業内容：eBay Inc.の日本法人として、オンライン・マーケットプレイス「eBay」を通じた日本セラーの越境 EC 支援を行っています。

<https://www.ebay.co.jp/>